

(様式1)

## 平成21年度 学校経営計画書及び自己評価計画書

|              |       |
|--------------|-------|
| 石川県立小松工業高等学校 |       |
| 校長           | 宇都宮 博 |

### 1 教育目標

工業の専門高校として、地域産業の発展に貢献できる有為な産業人を育成する。  
誠実を尊び、規律を守り、豊かな心、たくましい体力と実践力を持った人材を育成する。  
自ら専門技術の練磨を図り、科学的な探求心を持ち、創意工夫する人材を育成する。

### 2 中・長期的目標

#### (1) 学校の現状

時代のニーズに応えた6学科(機械システム、機械テクニカル、電気、電子情報、建築土木、マテリアル)を有し、実践的な工業技術や先端技術を身につけたスペシャリストを育成している。  
創立70周年を迎え、ものづくり人材を主眼とした「地元産業の発展に貢献できる意欲的な生徒の育成」を通して、地域に根ざした工業高校であり続けている。  
きめ細かな学習指導や生徒指導を行い、活力のある学校行事や部活動、生徒会活動等を通して、自律性に富み、心豊かな、たくましい体力を身につけた生徒を育成し、多様な可能性のある生徒の進路実現を図る。

#### (2) 生徒に関する中・長期的目標

学校での授業・実習を基本にしながら、家庭学習を習慣づけることにより、基礎学力の定着を図る。  
基本的な生活習慣を確立し、心身ともに充実した高校生活を送ることを目指す。  
専門教科・領域への興味・関心を高めるとともに、インターンシップ等を通して勤労観・職業観の育成を図る。  
学校行事、部活動、生徒会行事等の集団活動を通して、互いに協力することの大切さや、自己の役割と責任について自覚し、人間力の育成に努める。

#### (3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

教職員の意識改革を図り、学校経営計画に基づく教職員が一体となった機動的な学校組織運営に努める。  
授業公開や校内研修を充実させ、わかる授業を展開すると共に、生徒による授業評価を実施し、授業力の向上に努める。  
保護者、地元企業、中学校、地域等に対して、様々な機会本校の教育活動を情報発信し、開かれた学校づくりに努め、地域への貢献を図る。

### 3 今年度の重点目標

常に授業改善に取り組み、生徒の学習意欲を喚起する方策を講ずること、自ら学習にいとむ力を育成する。  
部活動の活性化を図り、保護者と連携をとりながら、基本的な生活習慣の確立を行う。  
地域貢献活動や情報発信を積極的に行い、保護者、地域社会及び企業等との連携を深め、生徒の可能性を生かした進路実現を目指す。

| 重点目標   | 具体的取組  | 主担当   | 現 状   | 評価の観点  | 実 現 状 況 の 達 成 度 判 断 基 準  | 判定基準  | 備 考                     |   |   |
|--|--|-------|---|--|--|---|-------------------------|---|---|
|  |  |       |   |  |  |   | 外                       | 生 | 内 |
| 1<br>常に授業改善に取組むこと、生徒の学習意欲を喚起すること、自ら学ぶ力を育成する。 | <p>基礎的知識・技能の習得を目的とした授業の充実を図る。また、公開授業については事後の教科学科会で検討し、授業改善について意識改革の徹底を図る。</p>                | 教 務   | <p>各学年、見直しを繰り返す。授業改善の取り組みを、授業研究や授業観察を通じて行う。</p> | <p>【努力指標】<br/>【生徒の態度】<br/>【授業の質】<br/>【授業の改善】</p>       | <p>授業は<br/>A とても工夫されていて、分かりやすい<br/>B 分かりやすい授業が多い<br/>C 分かりやすい授業が少ない<br/>D ほとんどわからない</p>              | <p>A + B の合計が70%未満の場合、教科・学科内の指導法を再検討（定期テスト後にアンケート調査）</p>  |                         |   |   |
|  |  |       |   | <p>【努力指標】<br/>【自主的な学習】<br/>【課題の取り組み】</p>               | <p>自主的な学習時間（1時間）が<br/>A ほとんど達成できた<br/>B だいたい週に2～3回達成できた<br/>C 週に1回程度達成できた<br/>D ほとんど達成できなかった</p>     | <p>A + B の合計が70%未満の場合、新たな方策を検討（定期テスト後にアンケート調査）</p>  |                         |   |   |
|  |  |       |   | <p>【満足度指標】<br/>【1年間の学習】<br/>【基礎知識・技能の習得】</p>           | <p>基礎的な知識・技能の習得について<br/>A 十分満足できる<br/>B だいたい満足している<br/>C あまり満足していない<br/>D 満足していない</p>                | <p>A + B の合計が70%未満の場合、現状分析と新たな方策を検討（2学期末にアンケート調査、教員とのデータ比較する）</p>   |                         |   |   |
|  | <p>資格取得の指標となる授業の充実を図る。また、PTAのバックアップ事業として取り組む。</p>  | 教 務 科 | <p>高度な資格取得を目指す。また、工業科での目標設定や指導の工夫を行う。</p>       | <p>【努力指標】<br/>【資格取得】<br/>【実践的学習】</p>                   | <p>資格取得に向けて<br/>A 一生懸命努力した<br/>B だいたい努力した<br/>C あまり努力しなかった<br/>D 努力しなかった</p>                         | <p>A + B の合計が70%未満の場合、改善策を検討（学期末にアンケート調査）</p>   |                         |   |   |
|  |  |       |   | <p>【満足度指標】<br/>【目標達成】<br/>【資格取得】</p>                   | <p>目標にした資格が<br/>A ほとんど取れたので、十分満足している<br/>B かなり取れたので、だいたい満足している<br/>C 少ししかとれなかった<br/>D ほとんどとれなかった</p> | <p>A + B の合計が70%未満の場合、改善策を検討（学期末にアンケート調査）</p>   |                         |   |   |
|  | ものづくり教育を推進するとともに、課題解決のための思考力・判断力を養い、生徒が主体的に取り組む事業を設定し、全国有数の技術者を育成する。                         |       | 教 務 科   | <p>5年連続で、高校生ものづくり大会に出場し、旋盤作業部門では3位入賞した。日本一を目指している。</p> | <p>【成果指標】<br/>【ものづくり大会】</p>  | <p>ものづくり大会において<br/>A 全国大会で上位入賞または複数出場することができた<br/>B 全国大会に出場することができた<br/>C 北信越大会に出場することが出来た<br/>D 県大会出場どまりであった</p> | <p>B 以上を目指す（2学期に集計）</p> |   |   |
| <p>【満足度指標】<br/>【安全・健康】<br/>【学習意欲】</p>        |  |       |   |  | <p>ものづくりをとらした専門科目の学習内容に<br/>A 大変満足している<br/>B だいたい満足している<br/>C 少し満足している<br/>D あまり満足していない</p>          | <p>生徒のA + B が75%未満の場合、改善策を検討（学期末にアンケート調査、教員と比較）</p>   |                         |   |   |
| 2<br>部活動の活性化を図り、保護者と連携をとりながら、基本的生活習慣の確立を行う。  | <p>部活動を通し、コミュニケーション能力の育成や感動を体感させ、充実感の高まりと上位入賞を目指す。また、正門ディスプレイにて成果をPRし、あわせて学校活性化の情報発信をする。</p> | 生 徒 会 | <p>9割以上の生徒が、部活動に積極的に参加している。</p>                 | <p>【満足度指標】<br/>【部活動】</p>                               | <p>部活動に<br/>A 大変満足している<br/>B だいたい満足している<br/>C 少し満足している<br/>D あまり満足していない</p>                          | <p>A + B の合計が70%未満の場合、改善策を検討（2学期末にアンケート調査）</p>  |                         |   |   |
|  |  |       |   | <p>【成果指標】<br/>【全国大会出場】</p>                             | <p>全国大会（県代表）出場の部が<br/>A 3部（同好会等含む）以上<br/>B 2部（同好会等含む）以上<br/>C 1つの部（同好会等含む）のみ<br/>D 全くない</p>          | <p>B 以上を目指す（年度末で調査）</p>   |                         |   |   |

|   |   |            |  |  |  |   |  |
|---|---|------------|--|--|--|---|--|
|   | <p>活動は、健康的な生活リズムを確立し、基礎的な学力の充実を図る。また、部活動や課外活動を通じて、生徒の個性や能力を伸ばし、社会に貢献できる人材を育成する。</p> | 生徒指導       | <p>校内学習の徹底を図る。また、部活動や課外活動を通じて、生徒の個性や能力を伸ばし、社会に貢献できる人材を育成する。</p>            | <p>【成果指標】<br/>一人ひとりが、社会に貢献できる人材を育成する。</p>              | <p>学期ごとの遅刻欠席ゼロ20日のクラスが<br/>A 全クラスあった<br/>B 12クラス以上あった<br/>C 6クラス以上あった<br/>D なかった</p>   | B未満の場合、改善策を検討<br>(学期末に調査)                       |  |
|   | <p>本校の伝統的な行事で、生徒の個性や能力を伸ばし、社会に貢献できる人材を育成する。</p>                                     | 生徒会<br>教科  | <p>学校の伝統的な行事で、生徒の個性や能力を伸ばし、社会に貢献できる人材を育成する。</p>                            | <p>【努力指標】<br/>行事を通して、生徒の個性や能力を伸ばし、社会に貢献できる人材を育成する。</p> | <p>春秋の駅伝コースタイムを比較して向上した生徒が<br/>A 70%以上であった<br/>B 60%以上であった<br/>C 50%以上であった<br/>D 50%未満であった</p>   | B以上を目指す<br>(2学期末調査)                             |  |
| 3 | <p>地域貢献活動や情報発信を積極的に進め、生徒の可能性を伸ばし、社会に貢献できる人材を育成する。</p>                               | 進路指導       | <p>進路指導の徹底を図る。また、部活動や課外活動を通じて、生徒の個性や能力を伸ばし、社会に貢献できる人材を育成する。</p>            | <p>【満足度指標】<br/>進路決定の満足度を高める。</p>                       | <p>進路関係の情報提供に<br/>A 大変満足している<br/>B だいたい満足している<br/>C 少し満足している<br/>D あまり満足していない</p>  | A+Bの合計が80%未満の場合、現状分析と新たな方策を検討<br>(学期末にアンケート調査)  |  |
|   | <p>生徒指導の徹底を図る。また、部活動や課外活動を通じて、生徒の個性や能力を伸ばし、社会に貢献できる人材を育成する。</p>                     | 生徒指導       | <p>生徒指導の徹底を図る。また、部活動や課外活動を通じて、生徒の個性や能力を伸ばし、社会に貢献できる人材を育成する。</p>            | <p>【努力指標】<br/>生徒指導の徹底を図る。</p>                          | <p>進路決定時、仕事(勤労観・職業観)について<br/>A 大変理解している<br/>B だいたい理解している<br/>C 少し理解している<br/>D あまり理解していない</p>   | A+Bの合計が80%未満の場合、現状分析と新たな方策を検討<br>(2学期にアンケート調査)  |  |
|   | <p>地域との関わりの中で、教育活動の充実を図る。また、地域と一体となって通学路等の危機管理について共通認識を持って対応する体制を構築する。</p>          | 総務科<br>生徒会 | <p>地域との関わりの中で、教育活動の充実を図る。また、地域と一体となって通学路等の危機管理について共通認識を持って対応する体制を構築する。</p> | <p>【努力指標】<br/>地域貢献の充実を図る。</p>                          | <p>地域貢献に<br/>A 大変努力した<br/>B だいたい努力した<br/>C 少し努力した<br/>D あまり努力しなかった</p>   | A+Bの合計が80%未満の場合、現状分析と新たな方策を検討<br>(年度末に集計)       |  |
|   |   |            | <p>【成果指標】<br/>学校行事で、地域への貢献が図られる。</p>                                       | <p>【満足度指標】<br/>外部講師による講演会の開催が適切に行われている。</p>            | <p>学校行事で参加者の増加が前年度比で<br/>A 20%以上であった<br/>B 10%以上であった<br/>C 例年並みであった<br/>D 減少した</p>   | A以上を目指す<br>(年度末に集計)                             |  |
|   |   |            |  |  | <p>外部講師の指導・助言(講演会等含む)について<br/>A 講話内容が今後の学習にとっても参考になり、大変満足している<br/>B 講話が難しかったが、興味がわき大体満足している<br/>C 部分的に参考になり、少し満足している<br/>D 内容が分からなく、あまり満足していない</p> | A+Bの合計が60%未満の場合、現状分析と新たな方策を検討<br>(2学期末にアンケート調査) |  |